

やわたの上下水道

第6号
平成29年1月



目次

- 【1面】
 - ・三つの水源で供給の安定性を確保
 - ・水道管の耐震化
- 【2・3面】
 - ・平成27年度上下水道事業会計決算状況
 - ・雨水浸水被害軽減対策
 - ・下水道管の長寿命化
 - ・水道の管理区分
- 【4面】
 - ・水道管の凍結にご注意ください
 - ・水道水のちょっとした疑問「これってどうなん？」
 - ・公共下水道接続のお願い
 - ・雨水タンクの設置費用を助成します
 - ・悪質な訪問業者にご注意ください
 - ・課名が変わりました

熊本災害派遣で給水活動を行った八幡市の給水車

熊本市役所前に集結した全国からの応援部隊

平成28年4月14日(木)に発生した熊本地震においては、現地の水道施設も被害を受け、多くの世帯が断水しました。八幡市では、4月21日(木)に日本水道協会から災害応援の要請を受け、4月27日(水)上下水道部職員3名と加圧式3.6トンの給水車を現地に派遣しました。応援先では、学校等の給水拠点を給水車で回り、断水地域の方々に水を配る給水活動に従事しました。

二つの水源で供給の安定性を確保

八幡市の水道水は、自己水源の地下水と京都府営水道からの浄水(府営水)を混合して、皆さまのもとへお届けしています。

自己水は、深井戸から取水していることから季節的変動も少なく水質及び水量とも安定しています。

府営水は、宇治川を水源とする宇治浄水場、木津川を水源とする木津浄水場、桂川を水源とする乙訓浄水場の3つの浄水場で、それぞれ異なる河川から取水し、水を作ることで水源で発生するリスクを分散しています。

また、久御山広域ポンプ場で3浄水場の送水管が接続され、相互に水融通が可能で、突発的な災害時でもバックアップ給水により、影響を最小限に止めることができます。

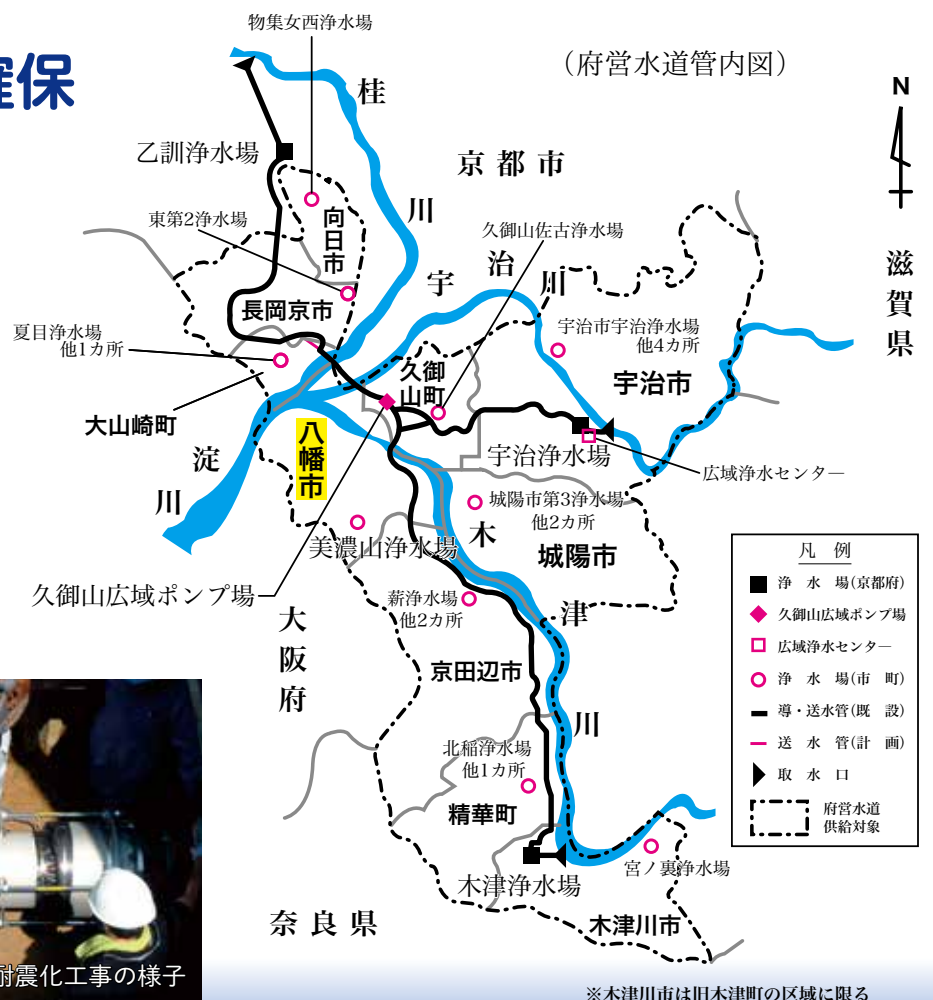
八幡市では、この二つの水源を有効に利用し、「災害に強く安定して供給できる水道」の構築を目指しています。

水道管の耐震化

地震等の災害に備え水道管の耐震化を行っています。工事は、老朽管の更新も兼ねて、重要な管路や漏水の多い管路を優先的に進めています。管路の更新・耐震化には、多額の費用と時間が必要ですが、市民の皆さんへ安全な水を安定してお届けするため、今後も促進を図っていきます。



耐震化工事の様子



凡例

■	浄水場(京都府)
◆	久御山広域ポンプ場
□	広域浄水センター
○	浄水場(市町)
—	導・送水管(既設)
- - -	送水管(計画)
▲	取水口
---	府営水道供給対象

※木津川市は旧木津町の区域に限る

上下水道事業の経営状況

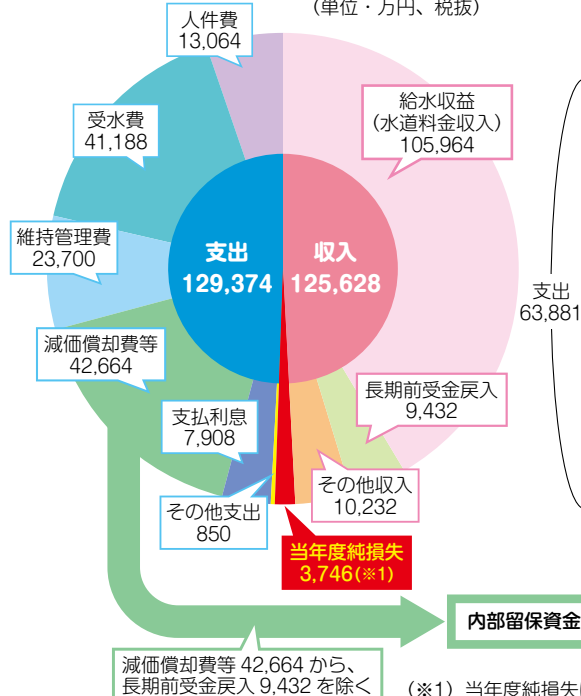
八幡市の上下水道事業は、市民の皆さまからお支払いいただいた水道料金や、下水道使用料を主たる財源として、施設の整備、維持管理及び事業運営経費等の費用を賄っています。

上下水道事業の経営環境については、節水機器の普及や節水意識の高まり、更には人口減少社会を迎えて、ますます水需要が減少傾向にあります。そのため収入が減少しており、経費の削減を行い、より効率的な事業経営に努めています。

今回は、平成27年度の決算状況をお知らせします。

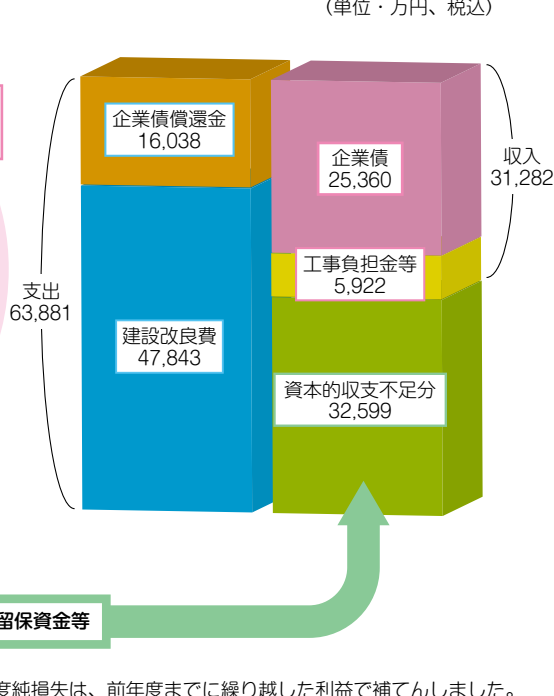
収益的収支 <図1>

(水道事業を運営するために要した経費と財源)
(単位・万円、税抜)



資本的収支 <図2>

(水道施設を作るために要した経費と財源)
(単位・万円、税込)



平成27年度水道事業会計決算状況

平成27年度収益的収支は、給水収益等が減少し、経費の削減に努めましたが、受水費や減価償却費、修繕費等が増加したことにより、3,746万円の当年度純損失(赤字)となりました。(図1)

資本的収支では、府営水受水管の耐震化工事、男山長沢地区等の老朽配水管布設替工事を行い、総延長1,836.6mの水道管を整備しました。また、美濃山浄水場の場内配管耐震化工事や沈澱池の各種操作盤の更新工事も行いました。(図2)

今後も老朽化した施設の耐震化を含めた改良更新に要する経費の増加が見込まれますことから、多額の資金が必要となります。

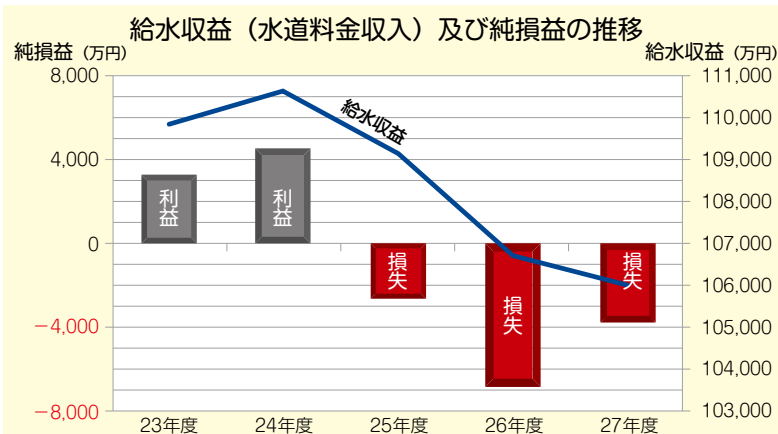
水道事業の運営の基盤となる水道施設の整備・改修や、借入金の元金の返済金は、減価償却費など費用化した内部留保資金により財源を確保しています。

続く厳しい経営状況

水道事業は、平成25年度から純損失(単年度赤字)の計上が続いている状況です。

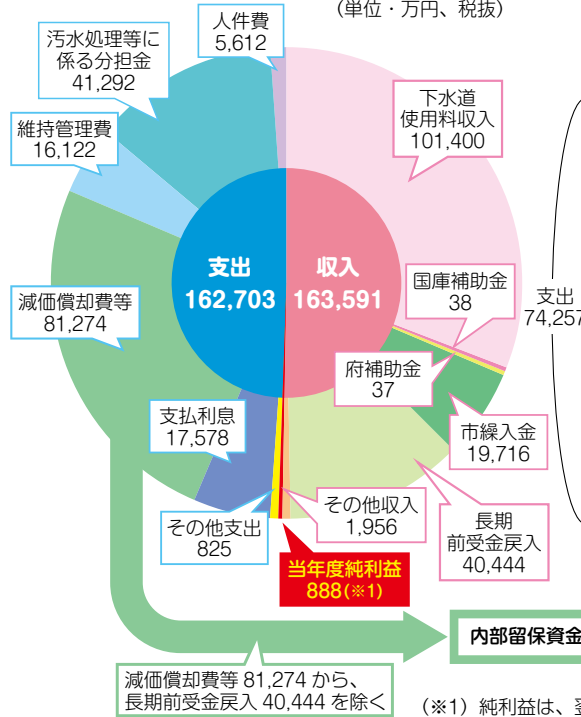
給水人口の減少や節水機器の普及による一件当たりの使用量の落ち込みにより給水収益(水道料金収入)が減少する一方、老朽化した施設の耐震化を含めた改良更新に要する経費など維持管理経費については増加しています。

今後も厳しい状況が続くものと予測しておりますが、経費の削減に努め効率的な事業運営に努めていきます。



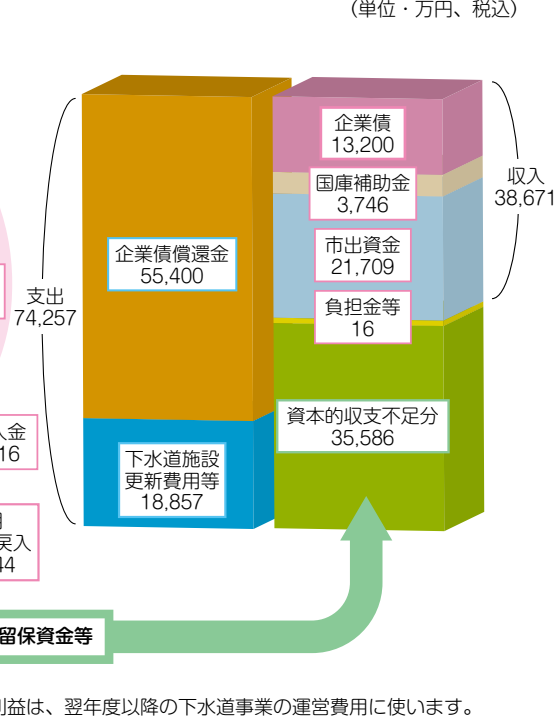
収益的収支 <図3>

(下水道事業を運営するために要した経費と財源)
(単位・万円、税抜)



資本的収支 <図4>

(下水道施設を作るために要した経費と財源)
(単位・万円、税込)



平成27年度下水道事業会計決算状況

平成27年度収益的収支において、前年度と比べて雨水処理負担金等が減額となったことから、事業収益は減少いたしました。また、事業費用についても、汚水、雨水の維持管理費等の減少や、前年度が公営企業会計基準の見直し適用初年度であり一時的に増加した費用があったことなどから、減少となりました。その結果、888万円の当年度純利益(黒字)となりました。(図3)

資本的収支では、企業債や市出資金等を財源に、前年度にひきつづき内里地区の未普及地区解消のために、府道八幡インター線の新設道路整備に関連する布設工事や男山・西山地区の老朽化による改築更新工事を行い、総延長1,003.4mの下水道管を整備しました。(図4)

新たに、大雨による浸水対策として、翌年度工事箇所の雨水地下貯留施設工事(あさかぜ公園)の実施設計や、地震対策である、主要幹線に係る下水道施設の耐震化工事の実施設計を行いました。

今年度より、雨水地下貯留施設設置工事や、下水道施設の耐震工事が増加するため、多額の資金が必要となることから、内部留保資金等によりこれらの財源を確保しています。

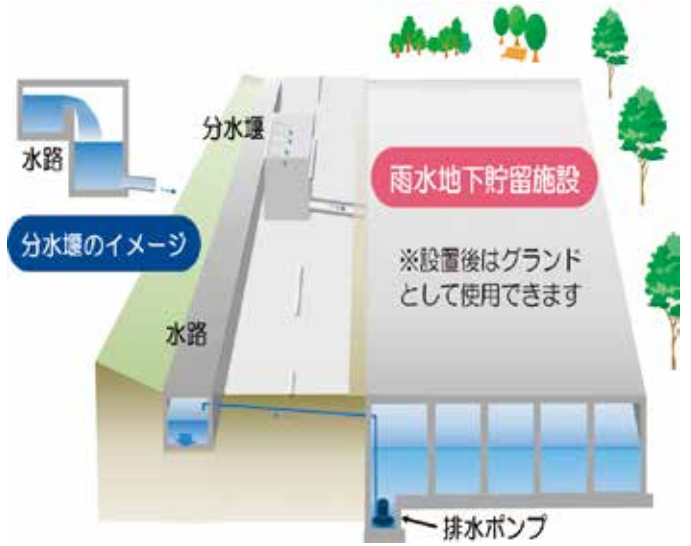
下水道事業の取り組み

雨水浸水被害軽減対策

近年、集中豪雨等によって発生している浸水被害を軽減する対策として、雨水排水計画を策定し10年に一度の頻度で降る可能性のある大雨に対応した雨水施設の整備を行うため、公共下水道で事業を実施することとしました。

下水道課で行う対策は、水路改修が困難な箇所に、雨水の流出抑制を行うため雨水地下貯留施設を順次設置していく計画で、今年度から2ヵ年かけて、あさかぜ公園に貯留量4,400㎡（一般的な小学校の25mプールで約12個分）の雨水地下貯留施設を設置する予定です。

雨水地下貯留施設は、水路の水位が上がった時に、公園等の地下貯留タンクに一旦雨水を貯めておき、水路の水位が下がった時にポンプでくみ上げ水路に排水する施設です。



下水道管の長寿命化

下水道管が経年劣化によって老朽化すると、管の破損や継ぎ手のずれが生じる場合があります。排水機能が低下する恐れがあります。また、多くの下水道管は道路下に埋設されているため、破損が著しく進行した管があると、道路陥没が生じる原因にもなります。老朽化による影響を未然に防ぐため、改築更新工事を行っています。現在、老朽化が進行している下水道管から順に改築更新工事を進めており、全体で約244kmのうち、平成27年度末までに22.4kmの下水道管(汚水)の改築更新工事を行いました。今年度は約0.8kmの改築更新工事を予定しています。

改築更新工事は主に更生工法と呼ばれる工法で施工しています。更生工法とは古くなった管の内面に新たな管を構築する工法で、道路を掘らずにマンホール部分から施工できるため、従来の工法よりも道路交通への影響を抑えることが可能となります。



(工事前)



(工事後)

お知らせとお願い

水道の管理区分

上水道

道路内の配水管から分岐した給水装置*1の管理は原則お客様となります(ただし、公道上の漏水等は例外的に市が対応しています)。メーターを確認するなど日常的に点検し、漏水していないかの確認をお願いします。漏水しているかどうかは、メーターのパイロットを見ることで確認できます。どこも水を使用していないのに、メーターのパイロットが回っている場合は、漏水している恐れがあります。修理される場合は、八幡市指定給水装置工事業者に依頼をしてください(修理費用等は自己負担となります)。業者が分からない場合は、上水道課にご相談ください(市ホームページにも掲載しております)。ただし、公団の賃貸住宅、分譲住宅及び府営賃貸住宅の方はそれぞれの管理会社等に連絡してください。

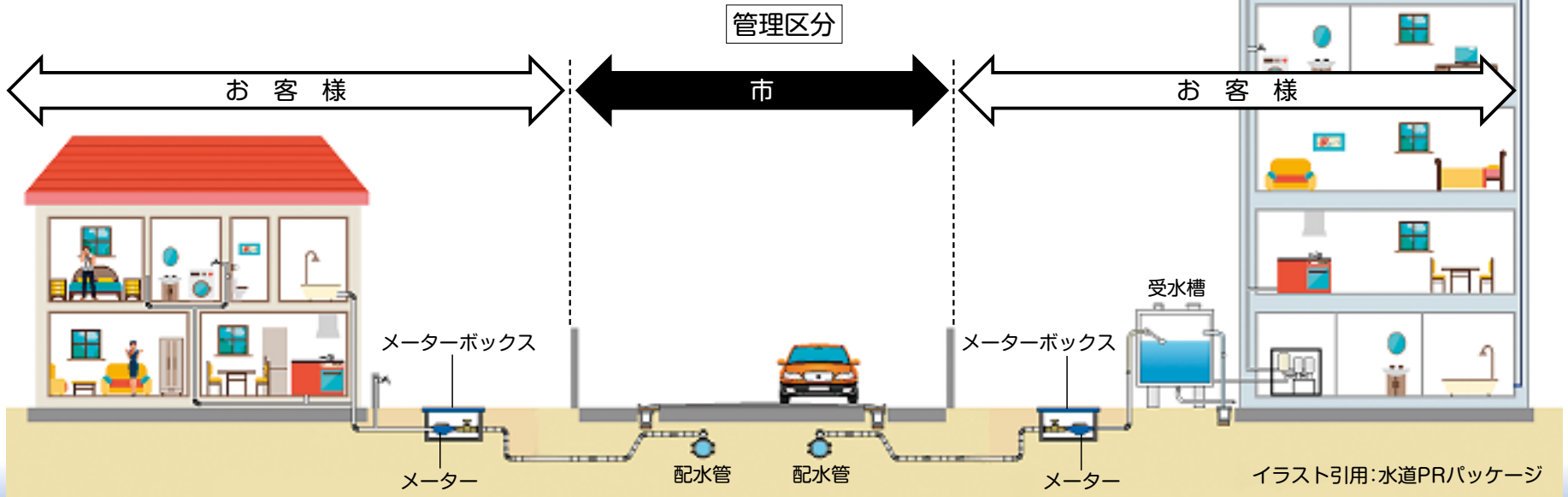
漏水による水道料金については、減額できる場合もありますので、詳しくは経営課にご相談ください。

*1 給水装置とは、市が布設した配水管から分かれて家庭まで引き込まれた分水栓・給水管・止水栓・水道メーター・給水栓(じゃ口)などです。



水道メーターの見方

注意 メーターボックスは、お客様の費用で設置されたお客様の財産であり、維持管理もお客様で行っていただく必要があります。万が一、蓋が割れてしまった場合は、八幡市指定給水装置工事業者に相談してください(修理費用は自己負担となります)。



水道管の凍結にご注意ください

上水道

気温がマイナス4度以下の厳しい寒さになると防寒の不完全な水道管内では、水が凍り破裂したりします。凍結は屋外に配管された次のようなところで多く発生します。

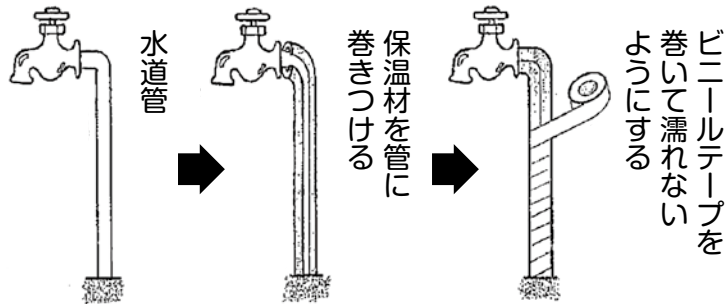
- ・管が露出しているところ
- ・風あたりの強いところ

○防寒対策としては

保温材を管に巻きつけ保温材自体が水に濡れないように上からビニールテープ等でしっかり巻いてください。

○水道管が破裂したら

メーターボックス内にある元栓(止水栓)を閉めてください。それから上水道課か八幡市指定給水装置工事業者へご連絡ください。



水道水のちょっとした疑問

上水道

①水を飲んだりご飯を炊くとカルキのにおいを感じる

原因:水道水に含まれる塩素が原因でにおいを感じる場合があります。

塩素は水中の細菌を殺す働きをしており、これがないと水道水が病原菌で汚染される恐れがあります。

対策:冷やすことによって消毒の塩素臭などの臭いもあまり気にならなくなります。(コップに3~4個の氷を入れるだけで十分です)



②アルミ製の鍋やかんが黒くなる

原因:アルミと水中の酸素がアルミの表面で酸化反応を起こし、黒くなります。アルマイト加工された製品は黒くなりませんが、経年劣化によりアルマイト被膜が無くなるとこのような反応が起こります。

対策:黒くなった部分は、クレンザーやスチールたわしで除くことが出来ます。ただ、そのままにしておくとすぐに黒くなりますので、米のとぎ汁を入れて10~15分ほど煮沸します。そうするとアルマイトに類似した被膜ができて、黒くなくなります。

悪質な訪問業者にご注意ください

上下水道

無料で「水道の水質を検査する」「下水の排水管を点検する」などと言い、浄水器の購入や排水管清掃作業の高額な契約をしてしまうといったトラブルが増えています。市役所の委託を受けているかのように訪問する場合がありますのでご注意ください。

不審な訪問業者に対しては、「身分証の提示を求める」、「その場ですぐに契約や支払をしない」、「強引な場合は、警察に通報する」等の対応が考えられます。契約に関するトラブルについては八幡市生活情報センター (075-983-8400)へ相談してください。

課名が変わりました

上下水道

旧課名	新課名	担当業務
水道工務課	上水道課	給水装置/指定給水装置工事業者/簡易専用水道設置者の指導/上水道の基本計画/施設の建設整備/配水管の維持管理/開発指導/上水道の取水、浄受水、送水、配水施設の運転管理/水質管理
水道総務課	経営課	上下水道の文書、例規/業務統計/出納/財産/下水道処理事務委託
下水道課		検針/上下水道料金/上下水道の使用の開始、中止
	下水道課	下水道の基本計画/施設の建設整備/下水道施設維持管理/開発指導/水質管理/下水道施設の改築・更新

平成28年4月1日付で組織改正により課名が変わりました。上下水道に関するお問い合わせは上記担当課までお願いします。

公共下水道接続のお願い

下水道

公共下水道は、川や海などの自然環境を守り、衛生的なまちを作るために重要な役割を担っています。公共下水道の供用が開始されている地域で、下水道に接続されていない方は、速やかに接続工事を行うようお願いいたします。

排水設備の接続工事は、八幡市下水道排水設備指定工事業者でないで行うことができません。市ホームページに掲載されております指定工事業者一覧をご確認のうえ、工事のご依頼をお願いいたします。下水道課の窓口でも指定工事業者一覧をご確認できます。

雨水タンクの設置費用を助成します

下水道

雨水タンクとは、雨水の流出を一時的に抑えるために、建物の雨どいから雨水をためるタンク(下図)のことです。貯まった雨水は、庭の花や樹木の散水等に活用でき、災害時には非常用の生活水(トイレ排水)としても利用できます。市民の皆様と協働して取り組むことで、防災・減災が図れますので、設置の検討をお願いします。

※助成を受けるには、事前相談が必要です。購入前に下水道課窓口にお越しください。

【助成内容】

雨水タンク[タンク本体+付属品(架台等)]および、購入に要する費用(送料)の4分の3に相当する額(消費税込、上限4万5千円。千円未満切捨)

※設置工事費、その他諸費用は含みません。設置例(下図)の①~④の箇所が助成対象です。

